



## 【ボケ】で写真のレベルをアップさせよう！？

撮影事業室の金光です。  
昨今はスマホの普及により誰でも手軽に好きな時に写真を楽しめる時代になりました。  
Instagramに代表されるように SNS では写真や動画がコンテンツの大部分を占めています。

元来日本人は写真大好きっ子と言われています。  
皆さんは写真撮るのはお好きでしょうか。私は大好きです。好きが高じて仕事となってしまいました。

誰でも簡単に撮れるからこそ、ハッと人目を惹く写真を撮るのが難しくなっていますよね。  
でも SNS にあげるからには少しでも『いいね！』が欲しい。  
今回はそんなお悩みにほんの少しだけ手助けとなる写真の初歩的な小技をご紹介します。

### ◆ボケ (bokeh) とはなんぞや??

「ボケた写真」といえばピントが合っていない写真のことですが  
見せたい部分以外を意図的にぼかし、印象的な写真にするテクニックを『ボケ』  
といいます。(右の猫さん写真参照)

元々は出来損ないとされていたボケ写真ですが、日本人はこのボケ写真が大好きなんです。日本人があまりにボケが好きで「ボケボケ」言っているうちに、なんと bokeh (ボケ) という言葉が世界共通語になってしまうあります。たしかにすべてを細部まで見せる西洋的な美にくらべ、隠すことに美を見出す日本的な画はどこか曖昧で不思議な魅力がありますよね。

とりあえずぼかせば、何となく見れる写真になるというとても便利なボケ。では bokeh な写真を撮るにはどうしたらいいのでしょうか？



### ◆F 値がすべてを支配する…

F 値とは、レンズの焦点距離を有効口径で割った値で、レンズの明るさを示す指標として用いられる。まったく意味がわかりませんね！大丈夫です理屈は一切無視です。

簡単に言うと、F 値とは写真を撮る際のレンズの設定値のことです。ちょっと気の利いたカメラや高級スマホなら撮影時に設定で F 値を変更できるかと思えます。

カメラによって若干の違いがありますが、概ね以下の数値があります。  
F 値 = 1 ⇒ 1.4 ⇒ 2 ⇒ 2.8 ⇒ 4 ⇒ 5.6 ⇒ 8 ⇒ 11 ⇒ 16 ⇒ 22 ⇒ 32  
この数字を小さくすればするほど、ピントが合った部分以外がぼけぼけすることになります。



※wikipedia より抜粋

### ◆F 値の変化で写真の印象はどう変わっていくのか



↑の写真は【F2】で撮影しました。  
ピント面の鳥以外の背景は溶けるようにボケていて、  
主題となる鳥さんが立体的に浮き上がって見えてい  
ませんか？



↑の写真は【F22】で撮影しました。  
こちらも鳥さんにピントが合っていますが、背景の  
物もしっかりと映り込んでおり、なんとなくうるさ  
い写真となっています。



実際には F 値だけでなく、カメラの性能（センサーサイズ）やレンズの作り、被写体や背景との距離等でボケ感は決まってくるので、F 値の変更だけでは思ったほどボケない（思ったよりボケる!）といったこともあるかと思いますが、秋も近づきお散歩日和が多くなる近頃、カメラを持ってぶらりお散歩などいかがでしょうか。

(監修:撮影事業室 西村・金光)



実はやってる  
オーティーエスのInstagram  
ots\_saiyou で検索!



先月号でもサラーリ宣伝させていただきましたが、写真つながりということでOTSのInstagramにアップしている社員の一部をご紹介します。

アカウント名が若干わかりにくいのですが、【OTS\_saiyou】となっており、中にある「\_」は単なるアンダーバーではなく、アンダーバーが二回続いた「アンダーバーアンダーバー」なのです><

